

ふるさと夢未来講演会 計画

学校教育課
魅力化推進係

1. 事業内容

- 大田市では、子どもたちが人生をたくましく生きる力を育むため、教育の魅力化を推進している。0歳から18歳までの『大田市統一カリキュラム～子どもの育ちとまなびのめやす～』を策定し、幼児期から小学校・中学校・高校への切れ目のない連携・接続をめざしている。
- 本講演会は、大田市内県立高等学校支援連携協議会の教育魅力化に係る中学生・高校生の合同研修事業である。

2. 目的

- 中学生と高校生が自分の未来社会の実現に向け、夢を実現した実践者の話を聞き、互いの感想や未来への夢を語り合う場をもつことで、「夢をもつこと」「夢実現に向かって努力すること」の大切さについて学ぶ。

3. 日時 令和3年11月1日（月） 8：55～10：30

4. 流れ 8：55～9：00 開会行事
9：00～10：10 講演
10：10～10：25 質疑応答・感想発表
10：25～10：30 閉会行事

5. 会場 島根県立邇摩高等学校 体育館

6. 講師 株式会社植松電機 代表 植松 努 氏

【演題】 「思うは招く」 ～夢があればなんでもできる～

【講演会流れ】

- ①教育委員会挨拶
(講師紹介含) (5分)
②講演 (70分)
③質疑応答・感想発表 (15分)
④邇摩高校校長挨拶 (5分)

【講師プロフィール】 植松 努 氏

- ・株式会社カムイスペースワークス 代表取締役
- ・NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター 理事
- ・長年ロケットに携わる夢を描き続け、リサイクル用マグネットを製作する20人ほどの町工場から民間ロケット開発へと夢を実現した。今では、JAXAと共同でロケット打ち上げ実験を行っている。
- ・全国各地で講演やモデルロケット教室を通じて人の可能性を奪う言葉「どうせ無理」をなくし、夢を諦めないことの大切さを伝える活動を行っている。

【著書】「好奇心を“天職”に変える空想教室」 『『どうせ無理』と思っている君へ』
「あきらめない練習」 「NASAより宇宙に近い町工場」